

# お年寄りを敬いましょう

## 9月15日 「敬老の日」



最近、とみに老人福祉の問題が、一般の関心を集めるようになってきました。これは、身近に不幸な老人の生活をみたり聞いたりするにつけ、なんとかして、こういった人たちを助けてあげたいという気持が自然とわいてくるからでしょう。

敬老の日がもうけられたのもこうした世論を背景にしたものなのです。

### 伸びる寿命・進む老齢化

最近の日本人の寿命は、生活環境の改善、医学の進歩などによって、たいへん伸びてきました。将来も現在以上に伸びていくと予想されており、わが国の人口構成は急速に老齢化していますが、日光市でも昭和三十五年の国勢調査では六十五才以上の人口は一、五八七人であった

ものが、四十年の同調査では総人口が減少したにもかかわらず六十五才以上人口は一、八一九人と二三人の増加をみているのです。

また、最近「該家族」といわれるように、家族の構成が夫婦と子供に限られ、祖父母は別の独立した生計を営む例が多くどうしても老人の生活の問題は社会全体で解決する必要があります

お年寄りは、たとい目に見えない大きな功績を残してはいないとしてもなんらかの形で長い間世の中の進歩に貢献してこられたことに変わりありません。

「敬老の日」を機会に、お年寄りに対する認識を高めていきたいものです。

### 18日に長寿会

ことしも公会堂で市内の七十才以上のお年寄り約一、三〇〇人のかたがたを招いて、九月十八日に公会堂で長

すすんで受けましょう

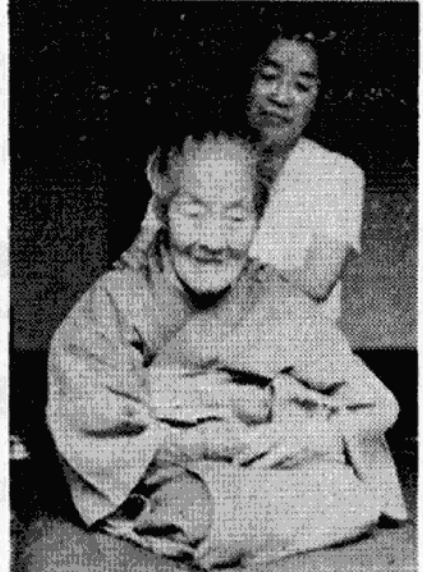
## 老人健康検診

お年寄りが、張りのある幸福な日々を送るためには、まず健康であることが第一ですが、そのためには、お年寄り自らも健康の保持に十分注意していただくなくてはなりません。

市では毎年、六十五才以上のかたを対象に健康検診を行なっています。残念ながらその受診率は極めて低く、昨年度は三

### まだまだお元気

#### 市内最高齢の星野イキさん(95才)



星野イキさん(清滝一丁目)は、明治二十八年二月十日生れの満九十五才六か月という市内最高齢者ですが、足が少々不自由なほかは、耳も目もいたってお丈夫、すでにひまごさんが九人。「食べ物に好き嫌いしないのが長生きの秘訣」とは、二女のテツさんのお話です。

### 七十才になったら

#### 老齢福祉年金の請求を

老齢福祉年金は、七十才以上のおとしよりに国から支給される年金です。

この年金は、ある程度生活にゆとりのあるかたには、ご遠慮願う仕組みになっていますが、七十才になれば、だれでも年金を受ける権利が発生します。

しかし、この年金を受けるには所定の手続きをとらなければなりません。市民課か支所・出張所でご相談ください。

的な検診を受けるよう、あなたにかい思いやりですすめていただきます。